

**Pioneer** *sound.vision.soul*

CD/チューナーメインユニット

# DEX-PO1II

取扱説明書

目次 4ページ

**carrozzeria**

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

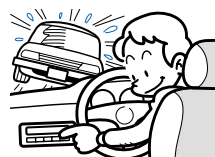
このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

#### 運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

### [異常時の処置]

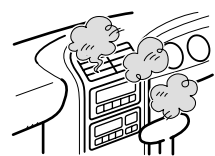
#### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## — CONTENTS

安全のために必ずお守りください  
絵表示について  
安全上のご注意

### はじめに

各部の名称	6
本体	
リモコン	
バッテリー上がりを防ぐために	8
「CD TEXT」について	8
ミュート機能について	8
リモコンの準備	9
リモコンに電池を入れる	
本機のリセットについて	9
リセットボタンについて	

### 本機の操作の概要

リモコンの開閉について	10
ディスプレイ遷移図	11
環境設定	
共通の操作	
オーディオメニュー	
本機のフロントパネルについて	14
フロントパネルの使いかた	
デタッチャブル フロントパネル	
共通の基本操作	16
リモコンでの操作	
PAUSE ボタンについて	
本体での操作	

### 環境設定

「環境設定画面」に切り換える	20
「環境設定画面」に切り換える	
「環境設定画面」での操作	
「環境設定画面」の解除	
時計設定	22
「時計設定画面」にする	
時計の設定	
オフクロックの設定	
ディスプレイ調整	24
「ディスプレイ調整画面」にする	
ブライトネスの調整	
ディマーの設定	
壁紙の設定	
リバースモードの設定	
一般設定	26
「一般設定画面」にする	
外部機器の設定	
外部機器の名称を入力する	
供給電圧表示の設定	
操作確認音の設定	
ダイバーシティーアンテナの設定	
メニューロック	29
メニューロックについて	
メニューロックのON/OFF	

### 内蔵CDの操作

「基本画面」での操作 (再生/選曲/早送り/早戻し)	30
「機能メニュー画面」での操作	32
「機能メニュー画面」を表示する	
「機能メニュー画面」を解除する	
機能メニューを操作する	33
リピート再生	
ランダム再生	
スキャン再生	
一時停止	
画面を切り換える	
「CD TEXT」の文字情報を表示させる	
タイトル入力	

## ラジオの操作

- 「基本画面」での操作  
(バンド選択/選局) ..... 36
- 「機能メニュー画面」での操作 ..... 37
  - 「機能メニュー画面」を表示する
  - 「機能メニュー画面」を解除する
- 機能メニューを操作する ..... 38
  - BSM
  - 放送局名選択
  - プリセットメモリー
  - プリセットチューニング

## マルチ CD の操作

- 「基本画面」での操作  
(ディスク選択/選曲) ..... 42
- 「機能メニュー画面」での操作 ..... 43
  - 「機能メニュー画面」を表示する
  - 「機能メニュー画面」を解除する
- 機能メニューを操作する ..... 44
  - リピート再生
  - ランダム再生
  - スキャン再生
  - 一時停止
  - 画面を切り換える
  - ディスクダイレクト選択
  - タイトル入力
  - タイトルリスト表示
  - 「CD TEXT」の文字情報を表示させる

## DVD の操作

- DVD プレーヤーについて ..... 52
  - DVD プレーヤーを接続した場合
  - DVD プレーヤーの設定
  - ディスクメニュー画面について
- 「基本画面」での操作  
(ディスク/チャプター選択) ..... 53
- 「機能メニュー画面」での操作 ..... 54
  - 「機能メニュー画面」を表示する
  - 「機能メニュー画面」を解除する
- 機能メニューを操作する ..... 56
  - リピート再生
  - ランダム再生
  - スキャン再生
  - 一時停止
  - 画面を切り換える
  - ディスクダイレクト選択
  - タイトル入力

## テレビの操作

- 「基本画面」での操作  
(バンド選択/選局) ..... 62
- 「機能メニュー画面」での操作 ..... 63
  - 「機能メニュー画面」を表示する
  - 「機能メニュー画面」を解除する
- 機能メニューを操作する ..... 64
  - BSSM
  - 音声切り換え
  - プリセットメモリー
  - プリセットチューニング

## 音の調節

- 「オーディオメニュー画面」で  
操作する ..... 68
  - 「オーディオメニュー画面」を表示する
  - 「オーディオメニュー画面」を解除する
- オーディオメニューを  
操作する ..... 69
  - フェーダー/バランス調整
  - バス/トレブル調整
  - ソースレベルアジャスター

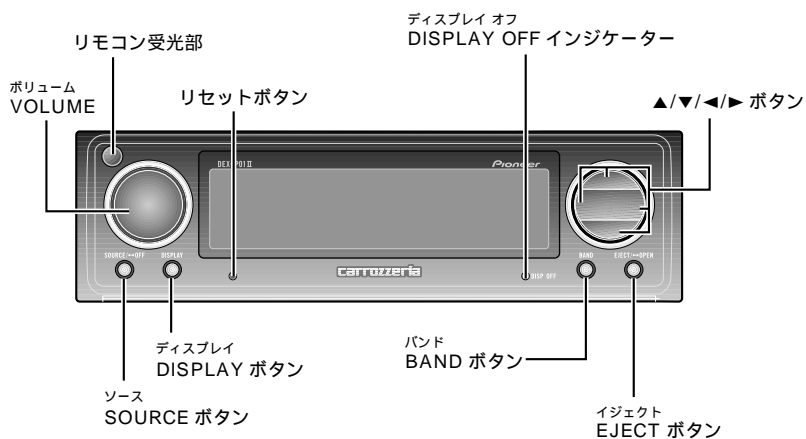
## その他の機能と付録

- その他の機能 ..... 72
  - アッテネーター
  - 画面表示を OFF にする
- CD の正しい使いかた ..... 74
  - 使用できる CD について
  - 取扱上のご注意
  - 保管上のご注意
  - お手入れについて
  - CD 再生の環境について
- 故障かな? と思ったら ..... 76
- こんなメッセージが表示されたら .. 78
- 保証書とアフターサービス ..... 79
- おもな仕様 ..... 80
- メモ ..... 82

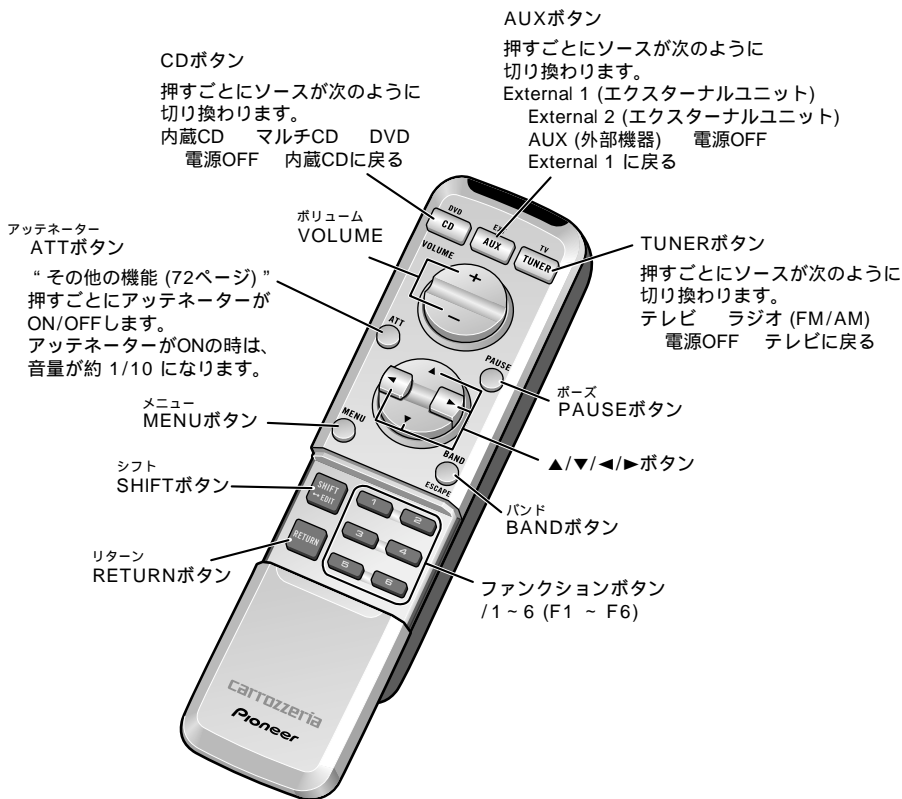
# 各部の名称

## 本体

本機では、ソースごとの基本操作は本体で行うことができますが、ほとんどの機能はリモコンで操作します。また、リモコンの状態（カバー開・カバー閉）によって、使用できる機能が異なります。



## リモコン



リモコンのボタン操作および開閉操作は、必ず、リモコンを本体のリモコン受光部に向けて行ってください。リモコンの位置によっては、正しく操作できないことがあります。

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON(またはACC)にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

### 供給電圧表示について

本機は、バッテリーからの供給電圧を、ディスプレイに表示させることができます。バッテリーからの供給電圧をチェックすることで、バッテリー上がりの防止に役立ちます。(27ページ「供給電圧表示の設定」参照)

## 「CD TEXT」について

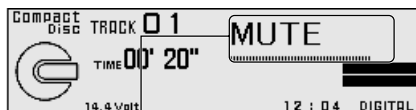
「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



## ミュート機能について

ミュート機能のある製品と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときは、画面上に“MUTE”が表示され、音声スピーカーから出力されなくなります。

ミュート機能が解除されると、自動的にもとの画面表示と音量に戻ります。



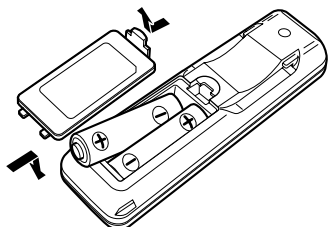
ミュート機能が働いているときに表示されます。



# リモコンの準備

## リモコンに電池を入れる

裏ボタンを開けて、単4乾電池 (R03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

## リモコン取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は充電しないでください。

リモコンを長時間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起きたときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

# 本機のリセットについて

## リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態 (ご購入直後の状態) に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

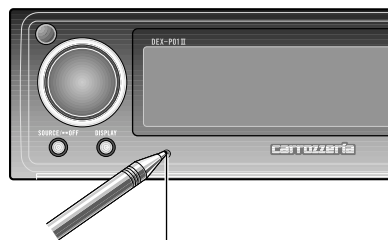
本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶 (時計やラジオのプリセットなど) が消去されます。もう一度セットし直してください。

### 1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

## メモ

フロントパネルを開けたままリセットすると、自動的にフロントパネルが閉じます。

# リモコンの開閉について

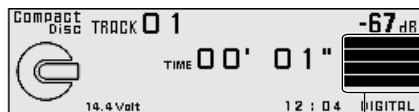
本機はリモコンの状態により、使用できる機能およびディスプレイのメニュー表示が異なります。

リモコンの状態	ディスプレイのメニュー表示
カバー閉	クローズ状態
カバー開	オープン状態

## メニュー表示クローズ状態 (カバー閉)



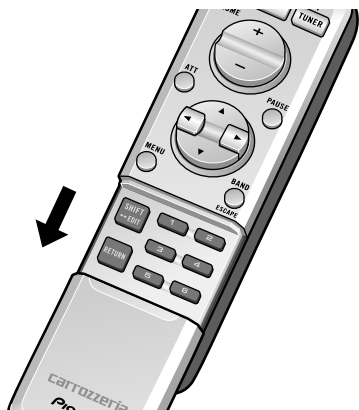
例：内蔵 CD 「基本画面」



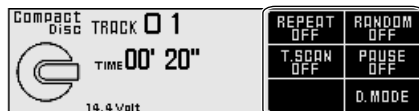
メニュー表示クローズ状態

現在のモード状態や、ON になっている機能が表示されます。

## メニュー表示オープン状態 (カバー開)



例：内蔵 CD 「機能メニュー画面」



メニュー表示オープン状態

ファンクションボタン /1~6 で操作できる機能が表示されます。  
(各メニューで表示がない部分に機能はありません。)

## メモ

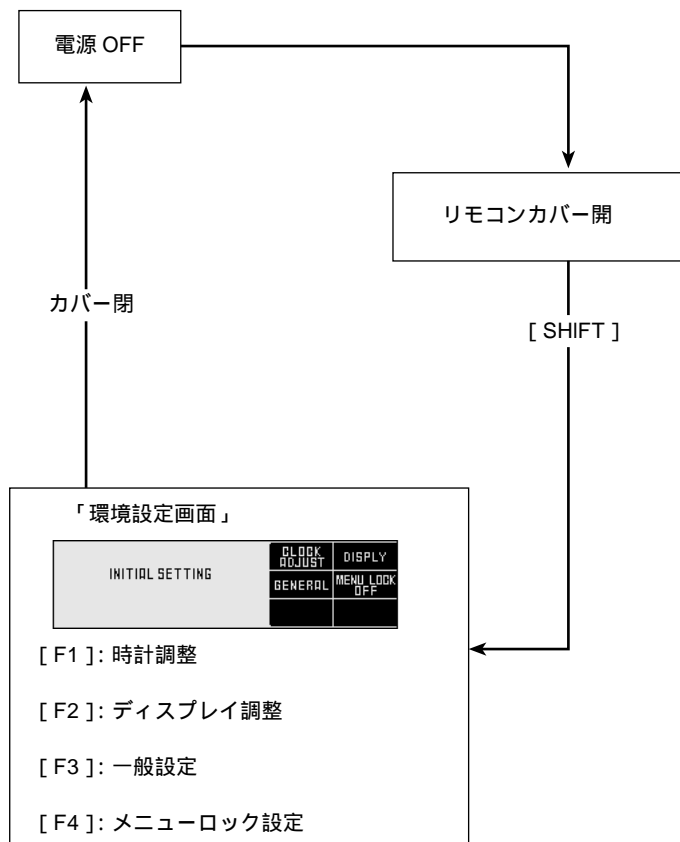
ファンクションボタン /1~6 と、ディスプレイのメニュー表示の位置関係は対応しています。

操作の途中でカバーを閉じたときは、それまでの操作が中断されて、メニュー表示がクローズ状態に戻ります。

# ディスプレイ遷移図

ここでは、本機の機能を、ディスプレイの遷移図を用いて、簡単に説明しています。  
ここで紹介している機能操作の詳細については、各機能を説明しているページを参照してください。

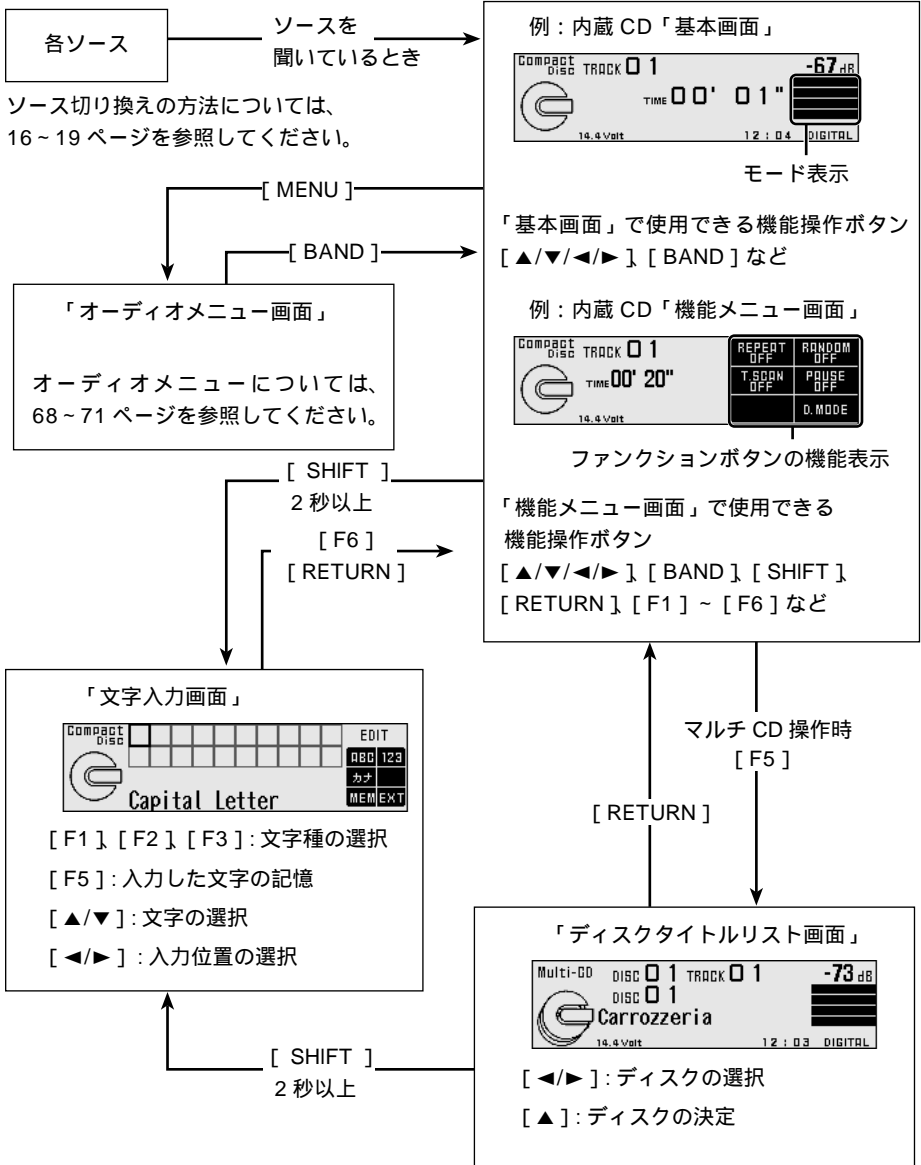
## 環境設定



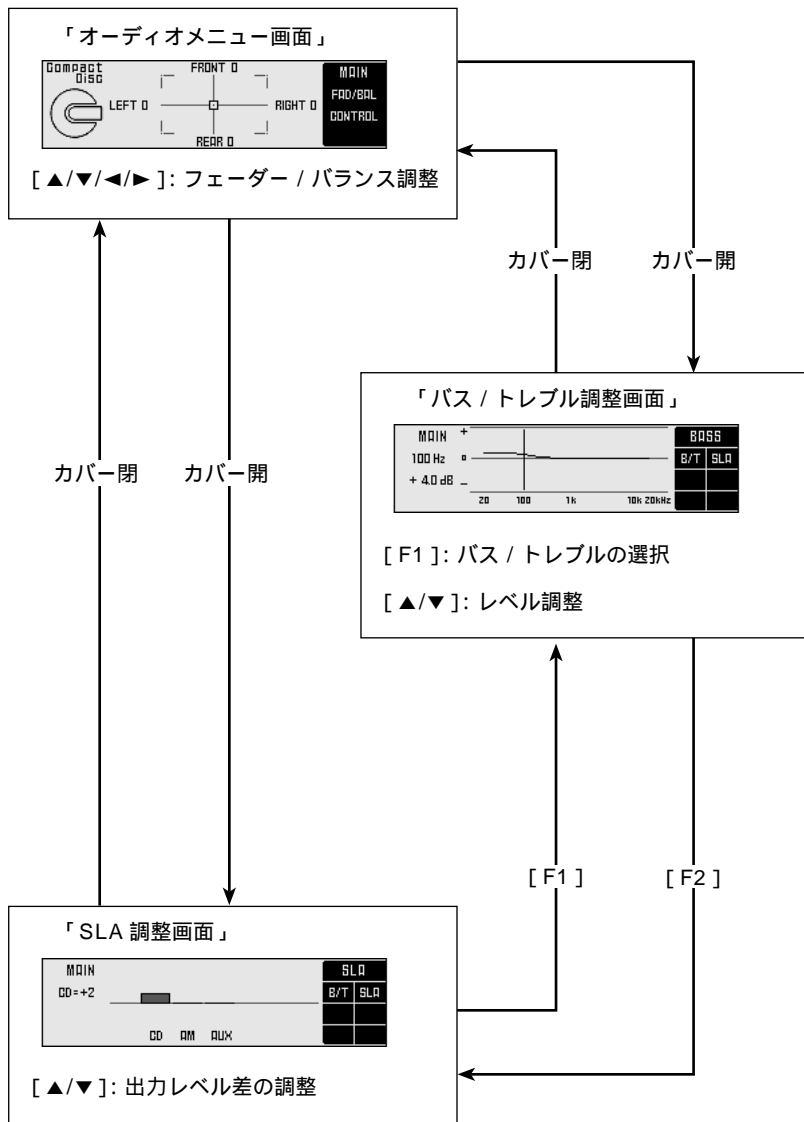
[ ▲/▼/◀/▶ ] およびファンクションボタン /1 ~ 6 で、それぞれの環境設定を行います。

# ディスプレイ遷移図

## 共通の操作



# オーディオメニュー



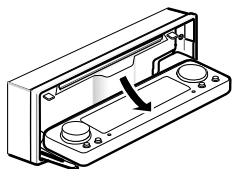
# 本機のフロントパネルについて



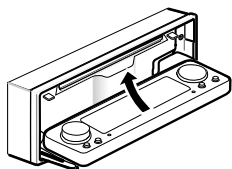
## フロントパネルの使いかた

ディスプレイをより大きく、見やすくするために、本機のフロントパネルにはスライドダウン機構を採用しています。

- 1 EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける



- 2 EJECT ボタンを押して、フロントパネルを閉じる



### メモ

CD がセットされているときは、EJECT ボタンを 2 秒以上押すごとに、CD をセットしたままで、フロントパネルの開閉ができます。CD を取り出すには、EJECT ボタンを 2 秒以下押します。

## デタッチャブル フロントパネル

本機のフロントパネル部には、盗難を抑制する方法の一つとして、デタッチャブル機構を採用しています。車から離れるときに、簡単にフロントパネルを取り外し、携帯できます。

### フロントパネルの固定ネジについて

フロントパネルを着脱できるようにするためには、フロントパネルを固定しているネジを、あらかじめ取り外してください。固定ネジを取り外さないと、フロントパネルは着脱できません。

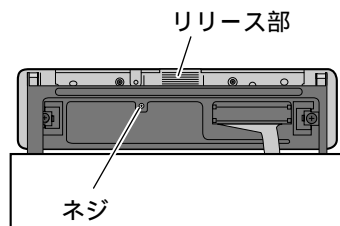
### メモ

フロントパネルを着脱する必要がない場合は、固定ネジは取り付けたままでご使用ください。

- 1 EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける

- 2 フロントパネルの固定ネジを取り外す

フロントパネル裏面

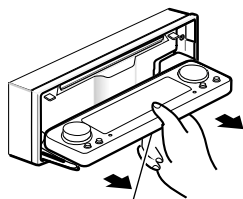


## デタッチャブル フロントパネル

フロントパネルの取り外しかた

1 EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける

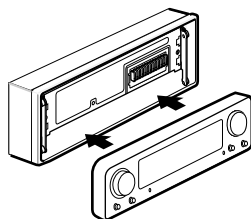
2 フロントパネルを手前に引き抜く



リリース部

フロントパネルの取り付けかた

1 フロントパネルを本体に押しつける



### メモ

フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。

取り外し・取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。

落とす・ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。

高温になる場所や、直射日光の当たる場所には置かないでください。

分解しないでください。

ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。表面が侵されることがあります。

フロントパネルおよび本体の端子部を触らないでください。接触不良になる恐れがあります。汚れたときは、きれいな乾いた布で拭いてください。

フロントパネルが正しく取り付けられていないときは、各ボタンを押しても動作しない場合があります。この時はフロントパネルを軽く押しつけてください。

## ！ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

# 共通の基本操作

## リモコンでの操作



### 1 ソースを切り換える

CD ボタンを押す

CD ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

内蔵CD

マルチCD (別売)

DVD (別売)

電源OFF

AUX ボタンを押す

AUX ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

External 1

(エクスターナルユニット)  
(別売) 19ページ 1

External 2

(エクスターナルユニット)  
(別売) 19ページ 1

AUX (外部機器) (別売) 19ページ 2

電源OFF

TUNER ボタンを押す

TUNER ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

テレビ (別売)

ラジオ (AM/FM)

電源OFF

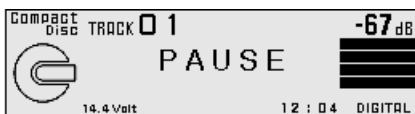


## PAUSE ボタンについて

内蔵CD、マルチCD、DVDを操作しているときに、再生を一時停止できます。

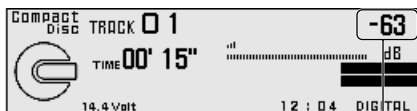
### 1 PAUSE ボタンを押す

PAUSE 中の画面



### 2 音量を調節する

VOLUME を押すと、音量調節ができます。



音量は、“--- dB”から“- 00 dB”の範囲で調節できます。

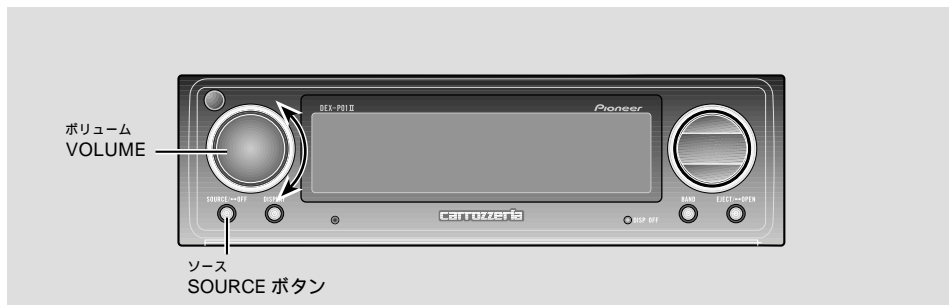
### 3 電源を切る

CD ボタン、AUX ボタン、またはTUNER ボタンを押して、電源OFFを選びます。



# 共通の基本操作

## 本体での操作



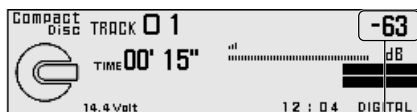
### 1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

- 内蔵 CD
- マルチ CD (別売)
- DVD (別売)
- テレビ (別売)
- ラジオ (AM/FM)
- External 1  
(エクスターナルユニット)  
(別売) 19ページ 1
- External 2  
(エクスターナルユニット)  
(別売) 19ページ 1
- AUX (外部機器) (別売) 19ページ 2

### 2 音量を調節する

VOLUME を回すと、音量調節ができます。



音量は、“ --- dB ” から “ - 00 dB ” の範囲で調節できます。

### 3 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押して、電源を切ります。



## メモ

接続していないソースには切り換わりません。

CDやDVDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

本機の青リード線（オートアンテナ）に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナが伸びます。

### 1 : External とは

External（エクスターナルユニット）とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal（エクスターナルユニット）をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても“External”が表示されません。2台のExternal（エクスターナルユニット）を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。

### 2 : AUX について

AUX（外部機器）の設定“外部機器の設定（26ページ）”をONにしないと、AUXには切り換わりません。

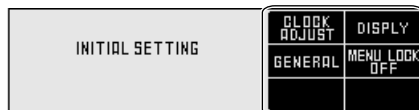
# 「環境設定画面」に切り換える



## 「環境設定画面」に切り換える

- 1 電源を切る  
(16、18 ページ参照)
- 2 リモコンのカバーを開ける  
(10 ページ参照)
- 3 SHIFT ボタンを押す  
「環境設定画面」に切り換わります。

「環境設定画面」



ファンクションボタンの機能表示

## 「環境設定画面」での操作

「環境設定画面」では、次の機能が操作できます。

時計設定 [22 ページ]  
<CLOCK ADJUST>

ディスプレイ調整 [24 ページ]  
<DISPLY>

一般設定 [26 ページ]  
<GENERAL>

メニューロック [29 ページ]  
<MENU LOCK>

## 「環境設定画面」の解除

- 1 リモコンのカバーを閉じる  
(10 ページ参照)

# 時計設定



## 時計の設定

「時計設定画面」で、時計の設定ができます。

### 1 時計を設定する

設定対象 (時・分) の移動

◀ : 左へ移動するとき

▶ : 右へ移動するとき

設定内容 (時・分) の調節

▲ : 時計を進めるとき

▼ : 時計を戻すとき

押し続けると、連続して送られます。

CLOCK ADJUST	CLOCK OFF	RESET
2:15		

秒表示はありませんが、分を設定したときは、設定後ボタンから手を離すと0秒からスタートします。

## 「時計設定画面」にする

### 1 「環境設定画面」に切り換える

### 2 ファンクションボタン/1 を押す

「時計設定画面」に切り換わります。

「時計設定画面」

CLOCK ADJUST	CLOCK OFF	RESET
12:00		

ファンクションボタンの機能表示

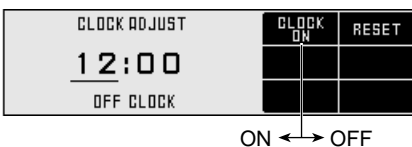
## オフクロックの設定

システムの電源がOFFになっているときでも、ディスプレイに時計を表示させることができます。

1 「時計設定画面」に切り換える

2 ファンクションボタン/1 を押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。



00 ~ 29分のときは、分は切り捨てられます。  
30 ~ 59分のときは、1時間繰り上げられます。

3 RETURN ボタンを押す

「環境設定画面」に戻ります。

## 電源がONのときは

各ソースの動作画面になっているときは、常に画面上に時刻が表示されます。



# ディスプレイ調整



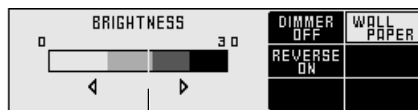
## ブライツの調整

「ディスプレイ調整画面」で、ブライツネスを、お好みに合わせて調整できます。

### 1 ブライツネスを調整する

ブライツネスの調整

- ◀ : ディスプレイを暗くするとき
- ▶ : ディスプレイを明るくするとき



ブライツネスは“0”から“30”の範囲で調節できます。

### 2 RETURN ボタンを押す

「環境設定画面」に戻ります。

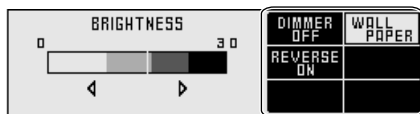
## 「ディスプレイ調整画面」にする

### 1 「環境設定画面」に切り換える

### 2 ファンクションボタン/2を押す

「ディスプレイ調整画面」に切り換わります。

「ディスプレイ調整画面」



ファンクションボタンの機能表示



## ディマーの設定

ディマーは、車のライトをONにすると、ディスプレイが自動的に暗くなる機能です。夜間、周囲が暗くなったときに、ディスプレイがまぶしくなるのを防ぐことができます。

1 「ディスプレイ調整画面」に切り換える

2 ファンクションボタン/1を押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。



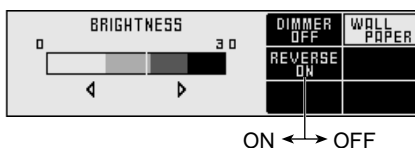
## リバースモードの設定

リバースモードは、ディスプレイ表示中に約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。リバースモードをONにすると、反転が10秒間隔で行われます。

1 「ディスプレイ調整画面」に切り換える

2 ファンクションボタン/3を押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。



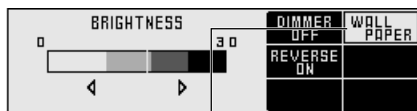
## 壁紙の設定

ディスプレイに表示される文字などの背景パターンを設定できます。

1 「ディスプレイ調整画面」に切り換える

2 ファンクションボタン/2を押す

ボタンを押すごとに、壁紙が切り換わります。



3種類の中から選択することができます。

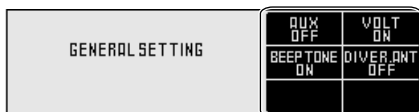
# 一般設定



## 「一般設定画面」にする

- 1 「環境設定画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/3を押す  
「一般設定画面」に切り換わります。

「一般設定画面」



ファンクションボタンの機能表示

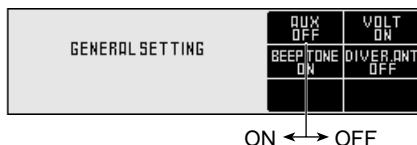
## 外部機器の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

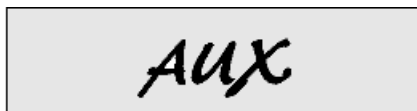
### 外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続できます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

- 1 「一般設定画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/1を押す  
ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。



- 3 ソースをAUXにする  
(16、18ページ参照)  
ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



## 外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力できます。

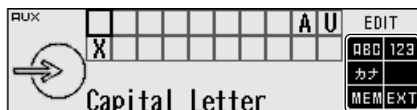
- 1 ソースを AUX にする  
(16、18 ページ参照)



- 2 リモコンのカバーを開ける  
(10 ページ参照)

- 3 SHIFT ボタンを 2 秒以上押す  
「名称入力画面」に切り換わります。

「名称入力画面」



ファンクションボタンの機能表示

- 4 外部機器の名称を入力し、記憶させる  
48 ページ「タイトル入力」を参照して、同様の操作で外部機器の名称を入力してください。

例：“DAT”を入力した場合

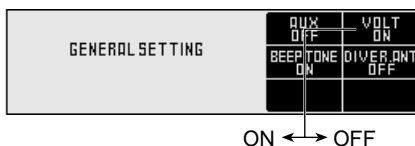


“AUX”のかわりに、入力した名称が表示されます。

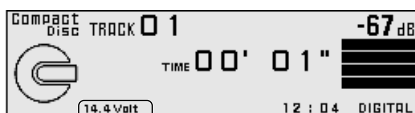
## 供給電圧表示の設定

本機はバッテリーからの電圧を常にチェックしており、現在供給されている電圧をディスプレイに表示させることができます。マルチアンプシステムを構築しているときに、バッテリーからの電圧をチェックすることで、バッテリー上がりの防止に役立ちます。

- 1 「一般設定画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/2 を押す  
ボタンを押すごとに、ON/OFF が切り換わります。



「基本画面」での電圧表示



電圧表示

### 電圧が 10 V 未満になったとき

現在供給されている電圧が 10 V 未満になったときは、「--- Volt」と表示されます。このような表示になった場合は、バッテリーが充電されるまでの間、本システムの電源を OFF にしてください。

# 一般設定



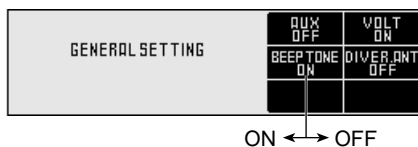
## 操作確認音の設定

ボタンを押したときに鳴る操作確認音  
("ピッ"という音)をON/OFFできます。

1 「一般設定画面」に切り換える

2 ファンクションボタン/3 を押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。



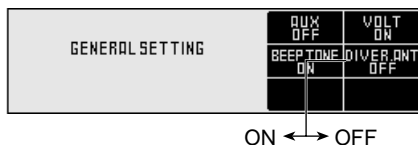
## ダイバーシティアンテナの設定

FMダイバーシティアンテナをお使いのときは、ダイバーシティの設定をONにします。

1 「一般設定画面」に切り換える

2 ファンクションボタン/4 を押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。



# メニューロック



## メニューロックについて

メニューロックは、オーディオの設定などをあやまって消去または再設定しないように、オーディオメニューの詳細設定を操作できなくする機能です。

本機と「DEQ-P01II (別売)」を組み合わせた場合でも、この機能を使ってオーディオメニューをロックできます。

## メニューロックのON/OFF

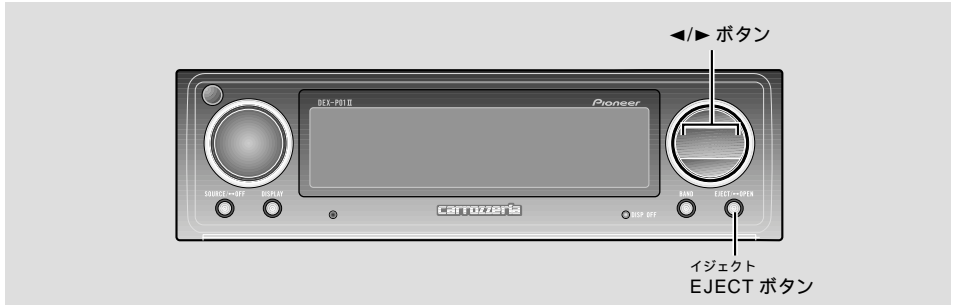
- 1 「環境設定画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/4を押す  
ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。



## メモ

メニューロックがONのときは、オーディオメニュー時でのリモコンのカバーの開閉操作は機能しません。

# 「基本画面」での操作 (再生/選曲/早送り/早戻し)

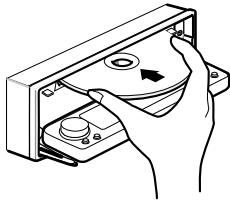


## 1 フロントパネルを開ける (14 ページ参照)

EJECT ボタンを押すと、フロントパネルが開きます。

## 2 タイトル面を上にして、CD をセットする

自動的にフロントパネルが閉まり、CD の再生が始まります。



### ご注意

CD シングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

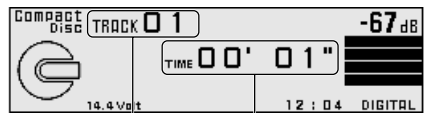
## 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押して選んでください。

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)

### 「基本画面」



トラック番号 再生経過時間

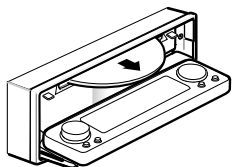
### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

## メモ

CD 挿入口には、CD 以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- 4** CDを取り出して、CD再生をやめる  
EJECT ボタンを押すと、フロントパネルが  
開き、CD が出てきます。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

- 5** フロントパネルを閉じる  
EJECT ボタンを押すと、フロントパネルが  
閉じ、電源がOFFになります。

## メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース（ラジオなど）に切り換えることもできます。  
(16～19ページ“共通の基本操作”参照)

## ！ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。  
フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

# 「機能メニュー画面」での操作

## 「機能メニュー画面」を表示する

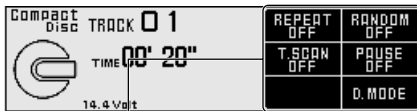
「機能メニュー画面」で、より便利な機能を使用できます。

**1** ソースをCDにする

**2** リモコンのカバーを開ける  
(10 ページ参照)

「機能メニュー画面」に切り換わります。

「機能メニュー画面」



ファンクションボタンの機能表示

「機能メニュー画面」では、次の機能が操作できます。

リピート再生 [33 ページ]  
<REPEAT>

ランダム再生 [33 ページ]  
<RANDOM>

スキャン再生 [34 ページ]  
<T.SCAN>

一時停止 [34 ページ]  
<PAUSE>

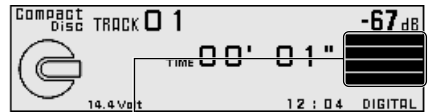
画面を切り換える [35 ページ]  
<D.MODE>

タイトル入力 [35 ページ]  
<EDIT>

## 「機能メニュー画面」を解除する

**1** リモコンのカバーを閉じる  
(10 ページ参照)

「機能メニュー画面」が解除され、「基本画面」に戻ります。



モード表示



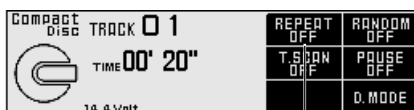
# 機能メニューを操作する



## リピート再生

今聞いている曲を繰り返し再生できます。

- 1 「機能メニュー画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/1 を押す

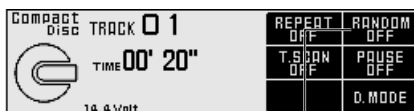


ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

## ランダム再生

選曲を内蔵CDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生できます。

- 1 「機能メニュー画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/2 を押す



ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、次の曲からランダムに選曲します。

# 機能メニューを操作する



## スキャン再生

曲の先頭部分だけを、約10秒間ずつ次々に再生できます。

- 1 「機能メニュー画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/3を押す



ON ←→ OFF

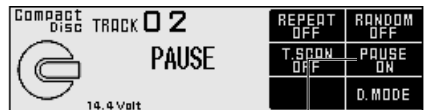
ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、スキャン再生が始まります。

- 3 聞きたい曲が再生されたら、ファンクションボタン/3を押す  
スキャン再生が解除され、選んだ曲から再生します。

## 一時停止

CDの再生を一時停止できます。

- 1 「機能メニュー画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/4を押す



ON ←→ OFF

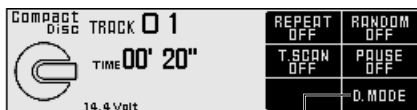
ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、CDの再生が一時停止します。

リモコンのPAUSEボタンを押しても、同様に一時停止できます。

## 画面を切り換える

CD再生中の画面を切り換えることができます。

- 1 「機能メニュー画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/6を押す



ボタンを押すごとに、「通常画面」と「シンプル画面」が切り換わります。

「シンプル画面」



## 「CD TEXT」の文字情報を表示させる

「CD TEXT」を再生したときのタイトルの表示のしかたは、マルチCDと同じです。

(51ページ「CD TEXT」の文字情報を表示させる”参照)

## タイトル入力

- 1 タイトル入力したいCDを再生する
- 2 タイトルを入力し、記憶させる  
(48ページ「タイトル入力」参照)

### ご注意

「CD TEXT」には、タイトルを入力することはできません。そのため、「CD TEXT」再生中に手順2の操作を行っても、EDITモードには切り換わりません。

タイトルは20文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルを記憶させたCDをマルチCDやDVDプレーヤーにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDやDVDプレーヤーを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

組み合わせたマルチCDやDVDプレーヤーによっては、入力できる文字数が10文字になる場合もあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

## タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶のしかたは、マルチCDと同じです。

(48ページ「タイトル入力」参照)

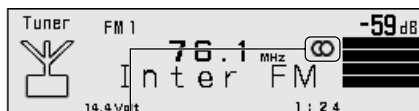
# 「基本画面」での操作 (バンド選択/選局)



## 1 ソースをラジオにする (16、18 ページ参照)

SOURCE ボタンを押して、ソースを切り換えてください。

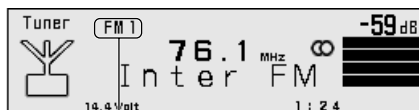
「基本画面」



ステレオ放送を受信すると表示されます。

## 2 BAND ボタンを押してバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



FM 1 FM 2 AM 1 AM 2 FM 1...

### メモ

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。

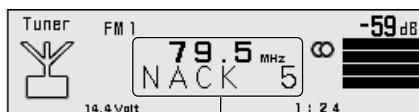
バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておき、旅行先など、どんな放送局があるか分からない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまますべてお使いになります。

## 3 放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押して選んでください。

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



周波数 / 放送局名表示

### 選局方法の使い分け

手動選局 (1 ステップずつ) 0.5 秒未満

自動選局 0.5 秒以上

### メモ

0.5 秒以上押し続けている間、途中の放送局をスキップできます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

本機は、あらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更して表示できます。(39 ページ “放送局名選択” 参照)

## 4 ラジオの受信をやめる (16 ~ 19 ページ参照)

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にしてください。

# 「機能メニュー画面」での操作

## 「機能メニュー画面」を表示する

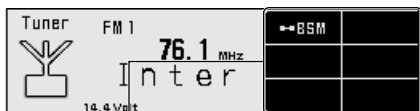
「機能メニュー画面」で、より便利な機能を使用できます。

1 ソースをラジオにする

2 リモコンのカバーを開ける  
(10ページ参照)

「機能メニュー画面」に切り換わります。

「機能メニュー画面」



ファンクションボタンの機能表示

「機能メニュー画面」では、次の機能が操作できます。

BSM [38ページ]

<BSM>

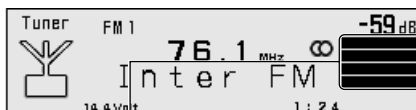
放送局名選択 [39ページ]

プリセットメモリー [40ページ]

## 「機能メニュー画面」を解除する

1 リモコンのカバーを閉じる  
(10ページ参照)

「機能メニュー画面」が解除され、「基本画面」に戻ります。



モード表示

# 機能メニューを操作する



## BSM

受信状態の良い放送局を探して、自動的にファンクションボタン/1～6に記憶させることができます。

**1** 「機能メニュー画面」に切り換える

**2** ファンクションボタン/1を2秒以上押す

ベストステーションズメモリーが始まります。(もう一度押すと、途中解除されます。)



ON ↔ OFF

記憶が終わると、ファンクションボタン/1に記憶した放送局を受信します。

## メモ

受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには、41ページの“プリセットチューニング”を参照してください。

バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておき、旅行先など、どんな放送局があるか分からない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。

## 放送局名選択

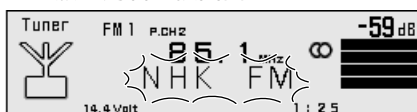
ディスプレイに表示されている放送局名が、受信している放送局名と異なるときは、放送局名を変更することができます。

**1** 「機能メニュー画面」に切り換える

**2** SHIFT ボタンを2秒以上押す

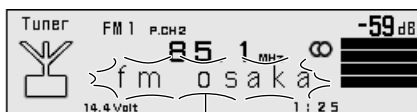
「放送局名選択画面」に切り換わります。

「放送局名選択画面」



**3** 放送局名を選択する

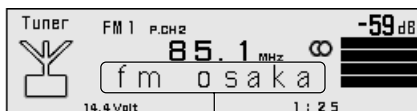
◀または▶ ボタンを押して選んでください。



受信中の周波数に該当する放送局名を表示します。

**4** 放送局名を決定する

▲ ボタンを押して決定してください。



点滅が終わり、放送局名を記憶します。

**5** RETURN ボタンを押す

放送局名が変更され、「機能メニュー画面」に戻ります。

## メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が記憶されていないと、“NO DATA”が表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、空白を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示できます。

パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を“FM TV-Sound”に変更して表示できます。

## 機能メニューを操作する




## プリセットメモリー

1 ~ 6のボタンに、お好みの放送局を手動で記憶させることができます。

- 1 記憶させるバンドを選ぶ  
(36 ページ参照)
- 2 記憶させたい放送局を選局する  
(36 ページ参照)
- 3 「機能メニュー画面」に切り換える
- 4 SHIFT ボタンを押す  
「プリセットリスト画面」に切り換わります。

「プリセットリスト画面」

Tuner	FM 1	P.CH 1	P.CH 2
	76.1 MHz	P.CH 3	P.CH 4
Inter	14.4 Volt	P.CH 5	P.CH 6

プリセット番号表示

- 5 放送局を記憶させる  
ファンクション/1 ~ 6 ボタンの1つを2秒以上押し続けて記憶させてください。



## プリセットチューニング

“プリセットメモリー”や“BSM”で記憶させた放送局を簡単に呼び出すことができます。

### 順送り/逆送りで選ぶ (シーケンシャル リコール)

- 1 記憶させたバンドを選ぶ  
(36 ページ参照)
- 2 ▲/▼ ボタンを押して放送局を呼び出す  
▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき  
▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき

### プリセット番号を直接指定する (ダイレクト リコール)

- 1 記憶させたバンドを選ぶ  
(36 ページ参照)
- 2 「機能メニュー画面」に切り換える
- 3 SHIFT ボタンを押す  
「プリセットリスト画面」に切り換わります。

「プリセットリスト画面」

Tuner FM 1 76.1 MHz Inter 14.4 Volt	P.CH 1	P.CH 2
	P.CH 3	P.CH 4
	P.CH 5	P.CH 6

プリセット番号表示

- 4 放送局を呼び出す  
ファンクション/1 ~ 6 ボタンの1つを押して呼び出して下さい。
- 5 SHIFT ボタンを押す  
「機能メニュー画面」に戻ります。

# 「基本画面」での操作 (ディスク選択/選曲)



- 1** ソースをマルチ CD にする  
(16、18 ページ参照)  
SOURCE ボタンを押して、ソースを切り換えてください。  
「基本画面」



- 3** 聞きたい曲を選ぶ  
(または早送り/早戻し)  
◀または▶ ボタンを押す  
▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)  
◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



## メモ

マルチ CD が準備動作 (CD の有無の確認や CD の情報の読み込みなど) をしている場合があります。この時、ソースをマルチ CD に切り換えると、“READY” が表示されます。

本機は 50 連奏マルチ CD プレーヤー「CDX-P5000」には対応していません。

マルチ CD 再生中にマルチ CD からマガジンを取り出すと、“No Magazine” が表示されます。

- 2** 聞きたい CD を選ぶ

- ▲または▼ ボタンを押して選んでください。
- ▲ : 次の CD を選ぶとき
- ▼ : 前の CD を選ぶとき



## 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

- 4** マルチ CD の再生をやめる  
(16 ~ 19 ページ参照)

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にしてください。

## メモ

光デジタルラインでマルチ CD を接続しているときは、画面上に“DIGITAL”が表示されます。

# 「機能メニュー画面」での操作

## 「機能メニュー画面」を表示する

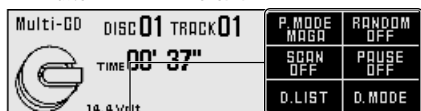
「機能メニュー画面」で、より便利な機能を使用できます。

**1** ソースをマルチ CD にする

**2** リモコンのカバーを開ける  
(10 ページ参照)

「機能メニュー画面」に切り換わります。

「機能メニュー画面」



ファンクションボタンの機能表示

「機能メニュー画面」では、次の機能が操作できます。

リピート再生 [44 ページ]  
<P.MODE>

ランダム再生 [45 ページ]  
<RANDOM>

スキャン再生 [45 ページ]  
<SCAN>

一時停止 [46 ページ]  
<PAUSE>

タイトルリスト表示 [50 ページ]  
<D.LIST>

画面を切り換える [47 ページ]  
<D.MODE>

ディスクダイレクト選択 [47 ページ]

タイトル入力 [48 ページ]  
<EDIT>

## 「機能メニュー画面」を解除する

**1** リモコンのカバーを閉じる  
(10 ページ参照)

「機能メニュー画面」が解除され、「基本画面」に戻ります。



モード表示

# 機能メニューを操作する



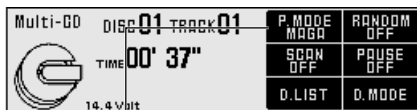
## リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選択できます。

**1** 「機能メニュー画面」に切り換える

**2** ファンクションボタン/1を押す

ボタンを押すごとに次のように再生範囲が切り換わります。



MAGA (マガジンリピート)

REPEAT (トラックリピート)

D. REPEAT (ディスクリピート)

MAGAZINEに戻る

## 再生範囲について

再生範囲の内容は以下のようになっています。

再生範囲	リピート再生の内容
マガジンリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。

## ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生できます。

1 「機能メニュー画面」に切り換える

2 “リピート再生”を参照して、再生範囲を切り換える

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

3 ファンクションボタン/2を押す



ON ↔ OFF

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、次の曲からランダムに選曲します。

## スキャン再生

今聞いているCDの曲の先頭部分だけを、約10秒間ずつ次々に再生できます。また、全てのCDの1曲目だけを次々に再生することもできます。

1 「機能メニュー画面」に切り換える

2 “リピート再生”を参照して、再生範囲を切り換える

選んだ再生範囲内でスキャン再生が行われます。

聞きたい曲を探すとき

ディスクリピートまたはトラックリピートにしてください。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生します。

聞きたいCDを探すとき

マガジンリピートにしてください。マルチCD内のCDの1曲目を、約10秒ずつ再生します。

3 ファンクションボタン/3を押す



ON ↔ OFF

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、スキャン再生が始まります。

4 聞きたい曲が再生されたら、ファンクションボタン/3を押す

スキャン再生が解除され、選んだ曲から再生します。

## メモ

スキャン再生を始めた曲(またはCD)まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、スキャン再生します。

# 機能メニューを操作する



## 一時停止

CD再生を一時停止できます。

- 1 「機能メニュー画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/4 を押す



ON ↔ OFF

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、CD再生が一時停止します。

リモコンのPAUSEボタンを押しても、同様に一時停止できます。

## 画面を切り換える

CD再生中の画面を切り換えることができます。

1 「機能メニュー画面」に切り換える

2 ファンクションボタン/6を押す



ボタンを押すごとに、「通常画面」と「シンプル画面」が切り換わります。

「シンプル画面」



## ディスクダイレクト選択

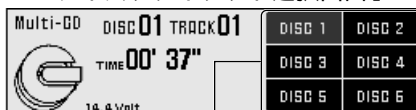
マルチCDのマガジン内にあるCDを、直接選択できます。

1 「機能メニュー画面」に切り換える

2 SHIFT ボタンを押す

「ディスクダイレクト選択画面」に切り換わります。

「ディスクダイレクト選択画面」



ディスク番号リスト表示

3 聞きたいCDを選ぶ

ファンクションボタン/1～6を押して、ディスクを選んでください。選んだディスクに切り換わり、自動的に再生が始まります。

例：5枚目のディスクをを選んだ場合



12枚連奏マルチCDを使用しているとき  
12枚連奏マルチCDで、7枚目～12枚目のCDを選択したい場合は、SHIFTボタンを押して、リストを7枚目～12枚目に切り換えてください。

4 RETURN ボタンを押して、「機能メニュー画面」に戻る

SHIFTボタンを押しても、同様に「機能メニュー画面」に戻ることができます。

# 機能メニューを操作する



## タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけると、50ページの「タイトルリスト表示」で聞きたいCDを探すこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P1270」など）では、「CD TEXT」に収録されているCDのタイトルを見てCDを探すことができます。

タイトルは20文字まで入力できます。（「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、入力できる文字数は10文字になります。）

タイトルはCD100枚分の記憶ができます。100枚を超えたときは、一番古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

## タイトル入力

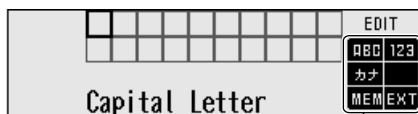
CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

**1** 「機能メニュー画面」に切り換える

**2** SHIFT ボタンを2秒以上押す

「文字入力画面」に切り換わり、文字を入力することができます。

「文字入力画面」



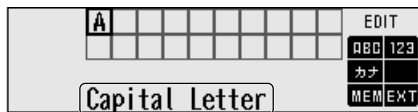
ファンクションボタンの機能表示

## メモ

「ディスクダイレクト選択画面」および「ディスクタイトルリスト画面」時に、SHIFT ボタンを2秒以上押しても、「文字入力画面」に切り換えることができます。

**3** ファンクションボタン /1、2、3 を押し、入力する文字の種類を選ぶ

例：ファンクションボタン /1 を押したとき



現在選択している文字の種類が表示されます。



押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)
2ボタン	アルファベットの大文字 (A~Z)、数字(0~9)、 記号(!、#、&など)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	数字(0~9)、 記号(!、#、&など)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ(ア~ン)、 音引き(ー) 拗促音(ア、ヨ、ッなど)、 (A~Z)、数字(0~9)

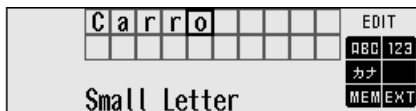
#### 4 文字を入力する

入力する文字を選ぶ

- ▲：次の文字を選ぶとき
- ▼：前の文字を選ぶとき

入力する位置を選ぶ

- ◀：左に移動させるとき
- ▶：右に移動させるとき

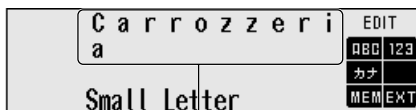


#### 5 手順3、4の操作を繰り返し行い、全ての文字を入力する

文字を間違えたときや変更したいときは、手順3、4の操作で新しい文字を入力すると、上書きされます。

#### 6 ファンクションボタン/5を押して、記憶させる

入力した文字が記憶されます。



枠線が消え、記憶が完了したことを示します。

#### 7 ファンクションボタン/6を押して、「文字入力画面」を解除する

「文字入力画面」が解除されて、「機能メニュー画面」に戻ります。



記憶させたタイトルが表示されます。

#### メモ

画面の大きさのため、入力は2段に分けて行います。

空白を作りたいときは、空白にしたい箇所の文字ボックスを飛ばしてください。

# 機能メニューを操作する



## タイトルリスト表示

CDのタイトルリストを見ながら、聞きたいCDを選択できます。

**1** 「機能メニュー画面」に切り換える

**2** ファンクションボタン/5を押す

「ディスクタイトルリスト画面」に切り換わります。

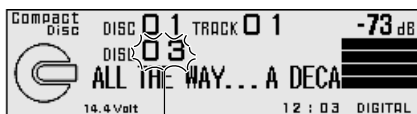
「ディスクタイトルリスト画面」



現在再生中のディスク番号が表示されます。

**3** 聞きたいCDを選ぶ

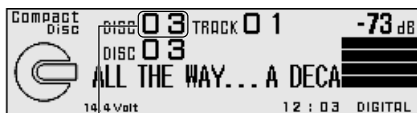
- ◀または▶ボタンを押す
- ◀：前のディスクを選ぶとき
- ▶：次のディスクを選ぶとき



選択しているディスク番号が点滅します。

タイトルが入力されていないCDは、何も表示されません。

**4** ▲ボタンを押して決定する



選択したディスク番号が表示されます。

**5** RETURNボタンを押して、「機能メニュー画面」に戻る



ディスプレイ  
DISPLAY ボタン

## 「CD TEXT」の文字情報を表示させる

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P1270」など）に「CD TEXT」をセットしたときに、Disc Title（ディスク名）、Disc Artist（歌手名）などを表示させることができます。一度に全角20文字表示させることができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

### 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）



本機は、カナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

## 表示切り換え

### 1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

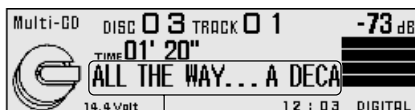
Disc Title（ディスク名）

Disc Artist（歌手名）

Track Title（トラック名）

Track Artist（歌手名）

Disc Title（ディスク名）に戻る



再生中の「CD TEXT」に収録されている文字情報が表示されます。

## 隠れている文字を表示する

### 1 DISPLAY ボタンを2秒以上押す

隠れている文字が順にスクロール表示されます。

# DVD プレーヤーについて

## DVD プレーヤーを接続した場合

本機に、光デジタルラインとIP-BUSケーブルでDVDプレーヤー（例：「XDV-P9 (II)」(別売))を接続し、IP-BUSケーブルでマルチCD（例：「CDX-P1270」(別売))を接続した場合（「取付説明書」参照）、マルチCD再生中に、DVDプレーヤーの本体またはリモコンでDVDの再生をONにすると、音声はDVDに切り換わります。

## DVD プレーヤーの設定

本機に、別売のパイオニア製DVDプレーヤーを組み合わせたときは、DVDプレーヤーの出力設定を変更する必要があります。下の表を参考にして、DVDプレーヤーを正しく設定してください。

### マルチDVDプレーヤー

（例：XDV-P9 (II) を接続したとき

#### 出力設定とダウンサンプル周波数

出力設定	LPCM
ダウンサンプル周波数	48 kHz

### 1枚型DVDプレーヤー

（例：SDV-P7) を接続したとき

#### 出力設定とダウンサンプル周波数

出力設定	LPCM
ダウンサンプル周波数	48 kHz
	96 kHz

## メモ

DVDプレーヤーの出力設定を正しく行わないと、DVDの音声を聞くことはできません。

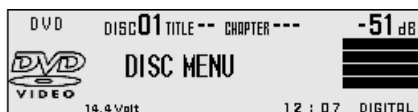
96 kHzで収録されているディスクでは、DVDプレーヤーのダウンサンプル周波数を「96 kHz」に設定すると、デジタル出力から音声がなくなることがあります。この場合は、ダウンサンプル周波数を「48 kHz」に切り換えてご使用ください。

(「DVDプレーヤーの取扱説明書」参照)

## ディスクメニュー画面について

DVDを再生しているときに、ディスクメニュー画面になっているときは、本機のリモコンでは再生できません。DVDプレーヤー本体かDVDプレーヤーのリモコンで操作してください。

「ディスクメニュー画面」



# 「基本画面」での操作 (ディスク/チャプター選択)



## 1 ソースを DVD にする (16、18 ページ参照)

SOURCE ボタンを押して、ソースを切り換えてください。

「基本画面」

タイトル番号    チャプター番号



ディスク番号    再生経過時間

### メモ

DVD プレーヤーが準備動作 (ディスクの有無の確認やディスクの情報の読み込みなど) をしている場合があります。この時、ソースを DVD に切り換えると、“READY” が表示されます。

DVD プレーヤー再生中に DVD プレーヤーからマガジン (ディスク) を取り出すと、“No Magazine” が表示されます。

## 2 再生したいディスクを選ぶ

- ▲または▼ボタンを押して選んでください。
- ▲ : 次のディスクを選ぶとき
- ▼ : 前のディスクを選ぶとき



## 3 チャプター (トラック) を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して選んでください。

- ▶ : 次のチャプター (トラック) を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前のチャプター (トラック) を選ぶとき (または早戻し)



チャプター (トラック) 選択と早送り/早戻しの使い分け	
チャプター (トラック) 選択	0.5 秒未満
早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

### メモ

「チャプター」および「タイトル」の詳細については、組み合わせた DVD プレーヤーの取扱説明書を参照してください。

## 4 DVD の再生をやめる (16 ~ 19 ページ参照)

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にしてください。

### メモ

光デジタルラインで DVD プレーヤーを接続しているときは、画面上に “DIGITAL” が表示されます。

# 「機能メニュー画面」での操作

## 「機能メニュー画面」を表示する

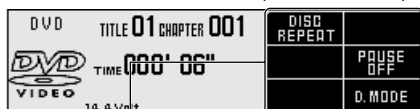
「機能メニュー画面」で、より便利な機能を使用できます。

**1** ソースをDVDにする

**2** リモコンのカバーを開ける  
(10ページ参照)

「機能メニュー画面」に切り換わります。

「機能メニュー画面」(DVD再生時)



ファンクションボタンの機能表示

「機能メニュー画面」では、次の機能が操作できます。

リピート再生 [56ページ]

<P.MODE> <REPEAT>

(DVD/ビデオCD/CD再生時)

ランダム再生 [57ページ]

<RANDOM> (CD再生時)

スキャン再生 [58ページ]

<SCAN> (CD再生時)

一時停止 [59ページ]

<PAUSE>

(DVD/ビデオCD/CD再生時)

画面を切り換える [59ページ]

<D.MODE>

(DVD/ビデオCD/CD再生時)

ディスクダイレクト選択 [60ページ]

(DVD/ビデオCD/CD再生時)

タイトル入力 [61ページ]

<EDIT> (CD再生時)

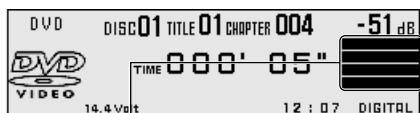
## メモ

DVD、ビデオCD、およびCDでは、操作できる機能が異なります。

## 「機能メニュー画面」を解除する

- 1 リモコンのカバーを閉じる  
(10 ページ参照)

「機能メニュー画面」が解除され、「基本画面」に戻ります。



モード表示

## 機能メニューを操作する



## リピート再生

今再生しているチャプター（トラック）を繰り返し再生したり、1枚のディスクを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選択できます。

**1** 「機能メニュー画面」に切り換える

**2** ファンクションボタン/1を押す

ボタンを押すごとに次のように再生範囲が切り換わります。

DVD 再生時

DVD	TITLE 01 CHAPTER 001	DISC REPEAT	
	TIME 00' 06"		PAUSE OFF
	14.4 Vbit		D. MODE

DISC (ディスクリピート)

CHAPTER (チャプターリピート)

TITLE (タイトルリピート)

DISCに戻る

CD またはビデオ CD 再生時

DVD	DISC 01 TRACK 01	P. MODE DISC	RANDOM OFF
	TIME 00' 37"	SCAN OFF	PAUSE OFF
	14.4 Vbit		D. MODE

DISC (ディスクリピート)

REPEAT (トラックリピート)

DISCに戻る



## 再生範囲について

再生範囲の内容は以下のようになっています。トラックリピートおよびタイトルリピートの詳細については、接続したDVDプレーヤーの取扱説明書を参照してください。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のディスクを繰り返し再生します。
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
チャプターリピート	再生中のチャプターを繰り返し再生します。
タイトルリピート	再生中のタイトルを繰り返し再生します。

## ランダム再生

### CD 再生時

選曲をDVDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生できます。

1 「機能メニュー画面」に切り換える

3 ファンクションボタン/2を押す



ON ↔ OFF

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、次の曲からランダムに選曲します。

## 機能メニューを操作する



## スキラン再生

## CD再生時

今聞いているCDの曲の先頭部分だけを、約10秒間ずつ次々に再生できます。

**1** 「機能メニュー画面」に切り換える

**2** ファンクションボタン/3を押す



ON ↔ OFF

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、スキラン再生が始まります。

**3** 聞きたい曲が再生されたら、ファンクションボタン/3を押す

スキラン再生が解除され、選んだ曲から再生します。

## メモ

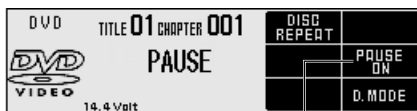
スキラン再生を始めた曲まで戻ると、スキラン再生は解除されます。

トラックリピートのときに、スキラン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、スキラン再生します。

## 一時停止

ディスクの再生を一時停止できます。

- 1 「機能メニュー画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/4を押す



ON  $\leftrightarrow$  OFF

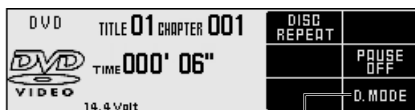
ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ONにすると、ディスクの再生が一時停止します。

リモコンのPAUSEボタンを押しても、同様に一時停止できます。

## 画面を切り換える

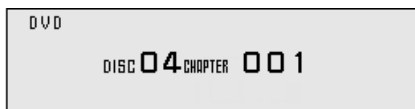
ディスク再生中の画面を切り換えることができます。

- 1 「機能メニュー画面」に切り換える
- 2 ファンクションボタン/6を押す



ボタンを押すごとに、「通常画面」と「シンプル画面」が切り換わります。

「シンプル画面」



## 機能メニューを操作する



## ディスクダイレクト選択

マルチDVDのマガジン内にあるディスクを、直接選択できます。

## 1 「機能メニュー画面」に切り換える

## 2 SHIFT ボタンを押す

「ディスクダイレクト選択画面」に切り換わります。

「ディスクダイレクト選択画面」

DVD	TITLE 01 CHAPTER 001	DISC 1	DISC 2
	TIME 001' 16"	DISC 3	DISC 4
14.4 Volt		DISC 5	DISC 6

ディスク番号表示

## 3 再生したいディスクを選ぶ

ファンクションボタン/1~6を押して、ディスクを選んでください。選んだディスクに切り換わり、自動的に再生が始まります。

DVD	TITLE 01 CHAPTER 001	DISC 1	DISC 2
	TIME 000' 00"	DISC 3	DISC 4
14.4 Volt		DISC 5	DISC 6

## 4 RETURN ボタンを押して、「機能メニュー画面」に戻る

SHIFT ボタンを押しても、同様に「機能メニュー画面」に戻ることができます。

## タイトル入力

### CD 再生時

- 1 タイトル入力したいCDを再生する
- 2 タイトルを入力し、記憶させる  
(48ページ“タイトル入力”参照)

### タイトル表示について

タイトル表示は、ディスクのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトルを入力しておく、ディスク再生時に入力したタイトルが表示されます。

タイトルの記憶のしかたは、マルチCDと同じです。

(48ページ“タイトル入力”参照)

組み合わせたDVDプレーヤーによっては、この機能は使用できません。

タイトルは全角のカナやアルファベットで10文字まで入力できます。(半角入力はできません。)

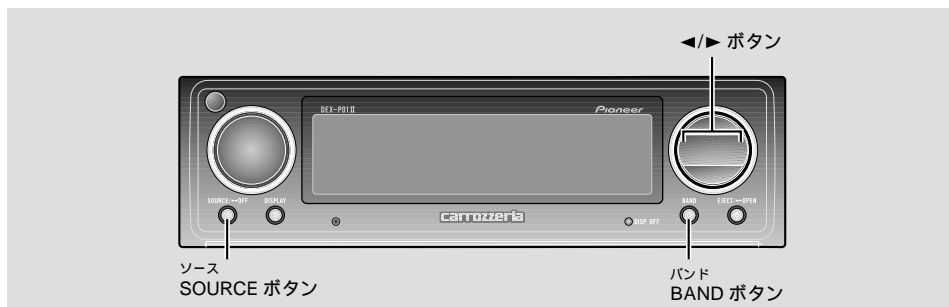
タイトルはCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いディスクの記憶が消されて、新しいディスクが記憶されます。

タイトルを記憶させたディスクをDVDプレーヤーにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

DVDプレーヤーでは、「CD TEXT」ディスクにタイトルを入力することができますが、そのディスクを内蔵CDで再生した場合、入力したタイトルは表示されません。(「CD TEXT」のタイトルや歌手名などが表示されます。)

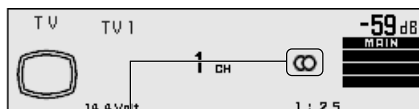
# 「基本画面」での操作 (バンド選択/選局)



## 1 ソースをテレビにする (16、18 ページ参照)

SOURCE ボタンを押して、ソースを切り換えてください。

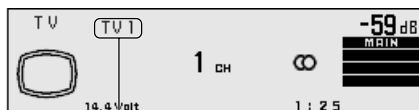
「基本画面」



ステレオ放送を受信すると表示されます。

## 2 BAND ボタンを押してバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



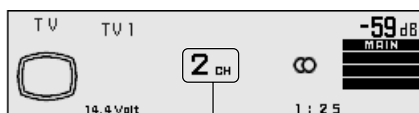
TV 1 TV 2 TV 1...

## 3 チャンネルを選ぶ

◀または▶ ボタンを押して選んでください。

▶ : 次のチャンネルを選ぶとき

◀ : 前のチャンネルを選ぶとき



チャンネル表示

### 選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5 秒未満
自動選局	0.5 秒以上

### メモ

0.5 秒以上押し続けている間、途中のチャンネルを飛ばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強いチャンネルを選局するには、自動選局を、電波の弱いチャンネルを選局するには、手動選局をおすすめします。

### メモ

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。

## 4 テレビの受信をやめる (16 ~ 19 ページ参照)

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にしてください。

# 「機能メニュー画面」での操作

## 「機能メニュー画面」を表示する

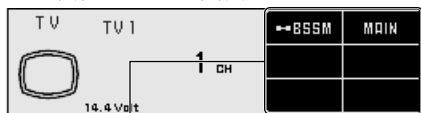
「機能メニュー画面」で、より便利な機能を使用できます。

**1** ソースをテレビにする

**2** リモコンのカバーを開ける  
(10 ページ参照)

「機能メニュー画面」に切り換わります。

「機能メニュー画面」



ファンクションボタンの機能表示

「機能メニュー画面」では、次の機能が操作できます。

BSSM [64 ページ]  
<BSSM>

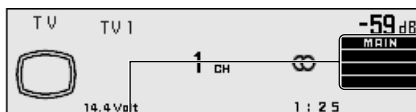
音声切り換え [65 ページ]  
<MAIN>

プリセットメモリー [66 ページ]

## 「機能メニュー画面」を解除する

**1** リモコンのカバーを閉じる  
(10 ページ参照)

「機能メニュー画面」が解除され、「基本画面」に戻ります。



モード表示

## 機能メニューを操作する



## BSSM

受信状態の良いチャンネルを、自動的にチャンネルの小さい順に記憶させる機能です。バンドごとに6局まで記憶させることができます。

**1** 「機能メニュー画面」に切り換える

**2** ファンクションボタン/1を2秒以上押す

ベストステーションズシーケンシャルメモリーが始まります。(もう一度押すと、途中解除されます。)



ON ←→ OFF

記憶が終わると、1のボタンに記憶したチャンネルを受信します。

## メモ


受信状態の良いチャンネルが6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

記憶させたチャンネルを呼び出すには、67ページの「プリセットチューニング」を参照してください。



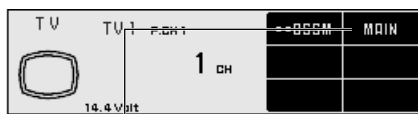
## 音声切り換え

2カ国語放送 (音声多重放送) を受信しているとき (  が表示されます) は、音声の切り換えができます。

1 「機能メニュー画面」に切り換える

2 ファンクションボタン/2 を押す

ボタンを押すごとに次のように音声切り換わります。



MAIN (主音声)

SUB (副音声)

MAIN/SUB (主音声 + 副音声)

### メモ

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。

2カ国語放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語 (例えば英語) で放送します。(逆の場合もあります。)

# 機能メニューを操作する

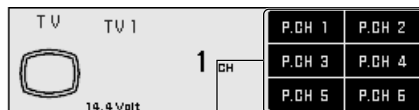


## プリセットメモリー

1 ~ 6 のボタンに、お好みのチャンネルを手動で記憶させることができます。

- 1** 記憶させるバンドを選ぶ  
(62 ページ参照)
- 2** 記憶させたいチャンネルを選局する  
(62 ページ参照)
- 3** 「機能メニュー画面」に切り換える
- 4** SHIFT ボタンを押す  
「プリセットリスト画面」に切り換わります。

「プリセットリスト画面」



プリセット番号表示

- 5** チャンネルを記憶させる  
ファンクションボタン / 1 ~ 6 の 1 つを 2 秒以上押し記憶させてください。

## プリセットチューニング

“プリセットメモリー”や“BSSM”で記憶させた放送局を簡単に呼び出すことができます。

### 順送り/逆送りで選ぶ (シーケンシャル リコール)

- 1 記憶させたバンドを選ぶ  
(62 ページ参照)

- 2 ▲/▼ ボタンを押してチャンネルを呼び出す

▲：次の記憶番号のチャンネルを呼び出すとき

▼：前の記憶番号のチャンネルを呼び出すとき

### プリセット番号を直接指定する (ダイレクト リコール)

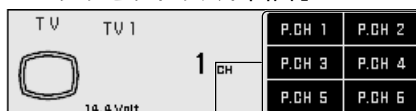
- 1 記憶させたバンドを選ぶ  
(62 ページ参照)

- 2 「機能メニュー画面」に切り換える

- 3 SHIFT ボタンを押す

「プリセットリスト画面」に切り換わります。

「プリセットリスト画面」



プリセット番号表示

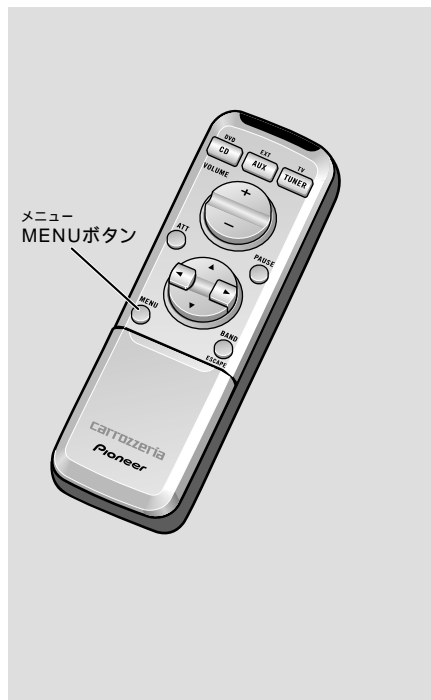
- 4 チャンネルを呼び出す

ファンクション/1 ~ 6 ボタンの1つを押して呼び出して下さい。

- 5 SHIFT ボタンを押す

「機能メニュー画面」に戻ります。

# 「オーディオメニュー画面」で操作する

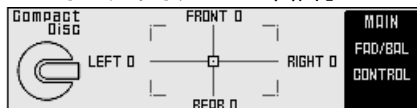


## 「オーディオメニュー画面」を表示する

### 1 MENU ボタンを押す

「オーディオメニュー画面」に切り換わります。

#### 「オーディオメニュー画面」



「オーディオメニュー画面」では、次の機能が操作できます。

フェーダー/バランス調整 [69 ページ]  
<FAD/BAL>

バス/トレブル調整 [70 ページ]  
<B/T>

ソースレベルアジャスター [71 ページ]  
<SLA>

## 「オーディオメニュー画面」を解除する

### 1 BAND ボタンを押す

「オーディオメニュー画面」が解除され、各ソースの「基本画面」に戻ります。

例：内蔵 CD 「基本画面」



# オーディオメニューを操作する



## フェーダー/バランス調整

前後/左右の音量バランスの調整ができます。

**1** 「オーディオメニュー画面」に切り換える

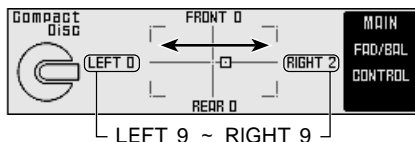
**2** 音量バランスを調整する

左右を調節する

◀ : 左を強めるとき

▶ : 右を強めるとき

L9 ~ R9の範囲で調節できます。

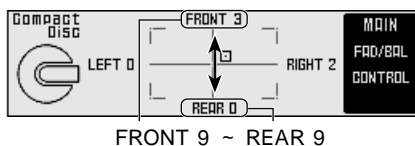


前後を調節する

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき

F9 ~ R9の範囲で調節できます。



# オーディオメニューを操作する



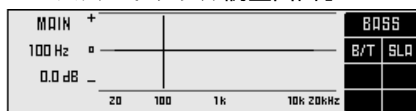
## バス/トレブル調整の上手な使い方

バス/トレブルのレベルを高くすると、音が歪んでしまうことがあります。バス/トレブル調整は、全体的な音質調整としてご使用ください。

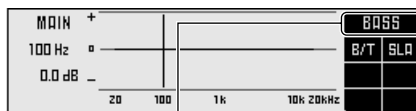
## バス/トレブル調整

- 1 「オーディオメニュー画面」に切り換える
- 2 リモコンのカバーを開ける
- 3 ファンクションボタン/1 を押す  
「バス/トレブル調整画面」に切り換わります。

「バス/トレブル調整画面」

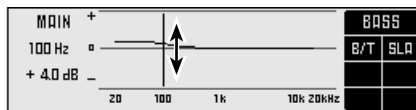


- 4 もう一度、ファンクションボタン/1 を押して、バスまたはトレブルを選択する  
ボタンを押すごとに、バス/トレブルが切り換わります。



BASS (バス) ←→ TREB (トレブル)

- 5 ▲/▼ボタンを押して、レベルを調節する



### 選択できる周波数と、レベル調整幅

バス	100 Hz
トレブル	10 kHz
レベル調整幅	- 8 ~ + 8 dB (2dB/1ステップ)

## ソースレベルアジャスター

ソースを切り換えたときに音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

**1** FM放送を受信し、FMの音量を確かめる(36ページ参照)

**2** 音量差を調整したいソースに切り換える(16～19ページ参照)

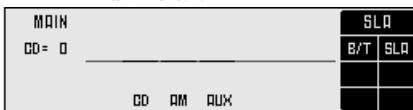
ソースを切り換えたときの音量差を確認してください。

**3** 「オーディオメニュー画面」に切り換える

**4** リモコンのカバーを開ける

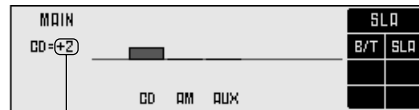
**5** ファンクションボタン/2を押す  
「SLA調整画面」に切り換わります。

「SLA調整画面」



**6** ▲/▼ボタンを押して、出力レベルを調節する

FMと音量がそろうように、現在聞いているソースの音量を調整します。



+4～-4の範囲で調整できます。

接続していないソースは表示されません。

### SLAとは

SLAとは、Source Level Adjuster(ソースレベルアジャスター)の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLA調整はできません。

AM、テレビ、CD、DVD、AUX(外部機器)、External1、External2(エクスターナルユニット)のそれぞれの音量差を調整することができます。なお、シングルCD・マルチCDとDVD、External1・External2とAUXは同じ設定になります。

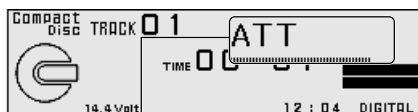
# その他の機能

## アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときなどに、瞬時に音量を小さくすることができます。



- 1 リモコンのATT ボタンを押す  
ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。



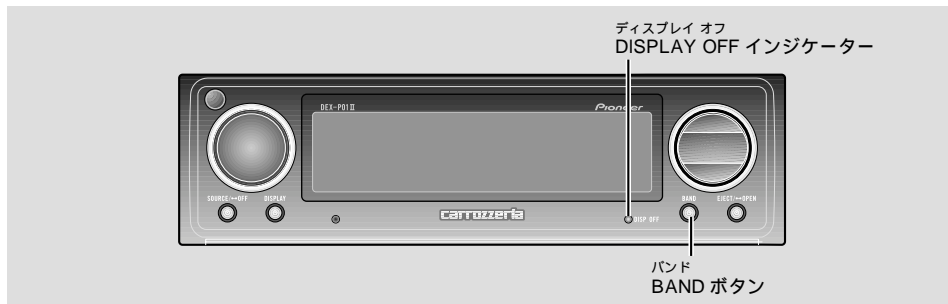
アッテネーターがONのときに  
表示されます。

アッテネーターがONのときは、音量が約  
1/10になります。



## 画面表示を OFF にする

画面表示を OFF にすることでノイズを抑え、音質への影響を防ぐことができます。



### 1 BAND ボタンを 2 秒以上押す

ボタンを押すごとに、表示の ON/OFF が切り換わります。

何かボタンを押すと、画面表示が約 5 秒間点灯し、再び消えます。

### メモ

画面表示を OFF にしているときは、本体の DISPLAY OFF インジケーターが点灯して、現在、システムが ON であることを知らせます。

# CDの正しい使いかた

## 使用できるCDについて

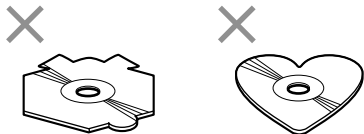
下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。

特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって、再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）

直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。

CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では再生できない場合があります。

本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。

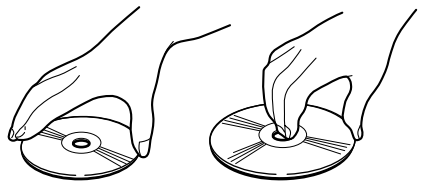
ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。

CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

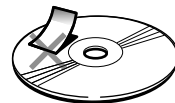
## 取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



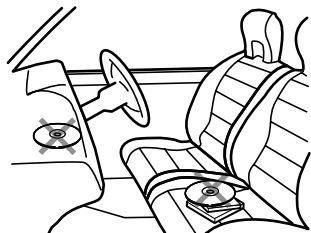
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



## 保管上のご注意

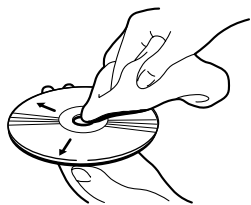
直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

## お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



## CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

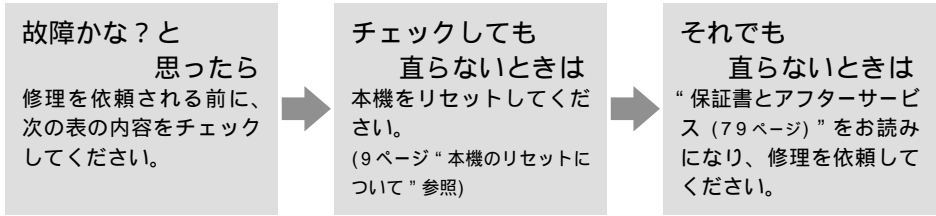
寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

## メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

# 故障かな？と思ったら



## 共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のものと交換してください。(「取付説明書」)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 “共通の基本操作(17、18ページ)”
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 “その他の機能(72ページ)”
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 “オーディオメニューを操作する(69ページ)”
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 “オーディオメニューを操作する(69ページ)”
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 “オーディオメニューを操作する(69ページ)”
ディスプレイが反転表示する。	リバースモードがONになっている。	リバースモードを解除してください。 “ディスプレイ調整(25ページ)”

## ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 “「基本画面」での操作 (36 ページ)”
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 “「基本画面」での操作 (36 ページ)”
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 “「基本画面」での操作 (36 ページ)”

## CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 “CDの正しい使いかた (75 ページ)”
	CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 “CDの正しい使いかた (75 ページ)”
CDの再生ができない。 CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	フロントパネルを開けた状態でEJECTボタンを2秒以上押し、CDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

# こんなメッセージが表示されたら

## CDのエラー表示

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 “CDの正しい使いかた(75ページ)”
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
	CDの裏表を逆にしてセットしているとき。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 “「基本画面」での操作(30ページ)”
「ERROR-14」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-44」	全ての曲がトラックスキップ指定されているとき。	CDを交換してください。

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# おもな仕様

## 共通部

- 最大消費電流：4.0 A  
 使用電源：DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)  
 アース方式：マイナスアース方式  
 取付寸法：  
 (D)：178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm  
 (DIN)：178 (W) × 50 (H) × 160 (D) mm  
 ノーズ寸法：  
 (D)：170 (W) × 45 (H) × 15 (D) mm  
 (DIN)：188 (W) × 58 (H) × 20 (D) mm  
 重量：1.7 kg (コード含まず)

## オーディオ部

- プリアウト：  
 最大出力レベル：4.0 V  
 インピーダンス：100  
 トーンコントロール：  
 BASS：100 Hz (± 8dB)  
 TREBLE：10 kHz (± 8dB)  
 デジタル入力：  
 光入力 (サンプリング周波数：44.1 kHz ~ 96 kHz)  
 デジタル出力：  
 光出力 (サンプリング周波数：44.1 kHz)

## CD プレーヤー部

- 形式：コンパクトディスクオーディオシステム  
 使用ディスク：コンパクトディスク  
 信号フォーマット：サンプリング周波数：44.1 kHz  
 量子化ビット数：16 ビット直線  
 周波数特性：5 ~ 20,000 Hz (± 1dB)  
 S/N：107 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)  
 ダイナミックレンジ：98 dB (1 kHz)  
 チャンネル数：2 (ステレオ)

## FM チューナー部

- 受信周波数帯域：76.1 ~ 89.9 MHz  
 実用感度：9 dBf (0.8 μV/75、モノラル、S/N：30 dB)  
 S/N 50 dB 感度：14 dBf (1.4 μV/75、モノラル)  
 S/N：70 dB (IHF-A ネットワーク)  
 高調波歪率：0.3% (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)  
 周波数特性：30 ~ 15,000 Hz (± 3dB)  
 ステレオ セパレーション：40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)



---

## AM チューナー部

受信周波数帯域：

522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)

実用感度：

18  $\mu$ V (S/N : 20 dB)

実効選択度：

50dB ( $\pm$  9 kHz)

---

## 付属品

リモコン	: 1
単 4 形乾電池 (LR03)	: 2
コード類	: 1 式
取付ネジ類	: 1 式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	: 1

- ・ 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。





この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

バイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障がどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

### ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://faq.pioneer.co.jp/faqnavi/piofaq/top/navi.cgi>

< 下記窓口へのお問い合わせ時のご注意 >

市外局番「0070」で始まる フリーフォン、および「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

## 商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のご相談窓口 : **0070-800-8181-11**  
 およびカタログのご請求窓口 : 【一般電話】 **03-5496-8016**

家庭用オーディオ/ビジュアル商品  
 (PDP・DVDなど)のご相談窓口 : **0070-800-8181-22**  
 およびカタログのご請求窓口 : 【一般電話】 **03-5496-2986**

カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>  
 ファックス受付 : **03-3490-5718**

## 部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

### 部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話 : **0120-5-81095**  
 : 【一般電話】 **0538-43-1161**  
 ファックス : **0120-5-81096**

## 修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 : **0120-5-81028**  
 : 【一般電話】 **03-5496-2023**  
 ファックス : **0120-5-81029**

### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**  
 ファックス : **098-879-1352**

## パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2004

< KSNZX > < 04100000 > < CRA3670-A >